

平成26年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。また、陸生・海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	4月10日 5月8日 6月5日 7月14日 8月4日 9月9日	管理目標値内であった。			—
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.9～7.4	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質 (日平均値)	5mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	4月8, 22日 5月8, 20日 6月3, 17日	鼻繰島にて、雌雄各1個体の生息・繁殖状況を確認した。 4月：月上旬に抱卵行動、下旬にふ化したヒナを確認。 5月：ヒナ3羽の存在を確認。 6月：幼鳥3羽の飛行を確認。			写真 1
	植生	5月7, 8日 7月21, 22日	イヨカズラを8箇所 計22株、ジュウニヒトエを50箇所 計376株、イヌノフグリを6箇所 計36株、ギンランを1箇所 計3株、キンランを2箇所 計4株、ビヤクシンを1箇所 計1株確認した。			写真 2
海生生物	潮間帯生物	4月28～30日	植物ではフクロノリ、イワノカワ科など45種、動物では、イボニシ、クロフジツボなど33種を確認した。			写真 3
	海藻草類	4月28, 30日	ケヤリ、サビ亜科など55種を確認した。			
	底生生物	4月28, 30日	サザエやムラサキウニ、アカウニなど6種を確認した。			
	スナメリ	4月～9月 (週1回・計24日)	確認回数は計51回、頭数は延べ119頭を確認した。			—
	カクメイ科等の貝類	5月13～15日 8月5～7日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール※2箇所のうち1箇所で調査を実施した。			—

※ タイドプール：干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】その他の環境調査結果

○カラスバト

計画地点では姿・鳴声とも確認はなかった。

なお、鼻繰島において4月、9月に鳴声および、姿を確認。5月、6月、7月に姿を確認した(写真4)。

○カンムリウミスズメ

5月に延べ13個体(天田島の北東から南東および、南西、祝島の東)、7月に延べ7個体(鼻繰島の南、祝島の南)、8月に3個体(鼻繰島の北)を確認した(写真5)。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ(5月8日)



幼鳥3羽

写真2: 植 生(5月7, 8日)



ジュウニヒトエ



イカズラ



イヌノフグリ



ギンラン



キンラン



ピャクシン

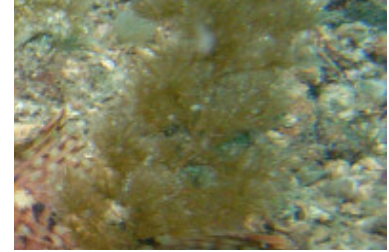
写真3:海生生物(4月28~30日)



フクロノリ



クロフジツボ



ケヤリ



サザエ

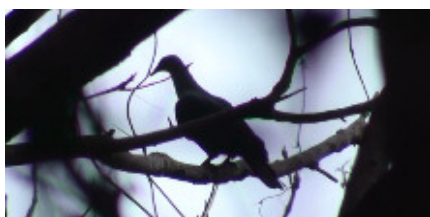


ムラサキウニ



アカウニ

写真4:カラスバト



(4月16日 鼻線島)

写真5:カンムリウミスズメ



(5月9日 天田島南西)

以 上